葬式仏教」を 米り越えることは 可能か

参加者:島田裕巳(宗教学者) 齊藤明聖(明順寺住職)

青江覚峰(彼岸寺) 松下弓月(彼岸寺)

これからの世の中に必要とされる葬式、墓とはなにか 巳氏と、伝統仏教の僧侶三名が激論を交わした。 伝統仏教界を騒然とさせた『葬式は、要らない』著者で、 2010年に刊行さ 宗教学者の島田裕

きりにしてしまうことも一因かと思 まっています。 お金が掛かり過ぎるという見方が広 いますが。 『葬式は要らない』以降、葬式に 遺族が葬儀屋に任せ

島田 す側に回る機会はなかなか巡ってこ ています。ましてや自分が葬儀を出 葬式に参列した経験がない人も増え そこにいきなり葬式というも 都市部の若い人達の中には、

> う人も多いと思うんです。 分からないまま終わってしまうと ら、とりあえず葬儀屋に任せ、 たらいいの?」と混乱してしまうか のがやってくると、「ええっ、 どうし よく

お葬式ができています。 いますが、 住職にお葬式の相談に来られる人も ますね。 **齋藤** 予備知識が必要なのは実感し お檀家さまの中には事前に そういう人は満足の 相談の 13

> 提唱している「お寺で家族葬」も選 色んな方法があることを伝えて、 すが、私はその方の状況に合わせて 択肢の一つです。 んでもらうようにしています。 自ずと経済的な事柄も含まれま 私が 選

実に触れていただく場として葬儀 もわかりません。その、 しています。 大切に勤めていただくことをお願 人間は生まれた限り必ず死にま いつ、どこで、どうして死ぬか いのちの事 を 11

青江 うんです。 サービスとサービス業の見分けがつ 在の葬儀の問題を一言で表すと、 かなくなっているところにあると思 スの範囲内でできると思います。 にしっかりした関係ができて のサービスを行うことによって対 (お金を掛けない葬式は) サ お寺、 サービス業とは、 僧侶の側とご遺族 なんら いの

れ

間 0 ビ



右から齋藤明聖氏、島田裕巳氏、青江覚峰氏、松下弓月氏

寺自体がサービス業化 本的な間違いという してしまう。それが根 まれてしまったり、 「サービス」が組み込 ス業」の中に、 はじめとした「サー お寺の お ビ

価をもらうこと。

がします。

でいい。 ボールを投げればそれ分が投げられる最高の る。対価のバランスが 取れている必要はなく 自分にできることをす 施」の発想です。 でいえば「布施対布 うのは、仏教的な発想 一方でサービスとい ただお互いが、 何 自 か

それなのに葬儀社を

そもそも付き合うべきなのかとか でいても、 関係を結んでいないという人がたく 迷いが生じてくるのは必然だと思う とどう付き合っていけばい さんいるし、 京など都市部だと、お寺さんと檀家 うこともできると思います。 お寺との関係が密接なので、 んですよ。 人はあまりいない。だからお寺さん で住職が檀家さんを回っていたり、 地方だと、 しょっちゅうお寺に行く たとえ檀家関係を結ん 「月参り」という形 いのか そうい でも東

お寺は、 少ない。まずお寺というものが日常 齋藤 の生活の中で意識されていません し、実感もできない 見えていない。だからわ そうですね。たしかに東京 一般に近所のお檀家さまが からな 0

しかしこれは逆にいえば、 意識さ

029 第1部 お葬式とお墓の本質を考える

責任です。 ということです。 ない、実感、 見せていない、 これはお寺の 体験させてい わ か らせ な 側 0

青江 う概念がしきりに言われてい る」という意味の「ユビキタス」とい リスト教の発想です。 これは「神は遍在する」と 近年、 日常使う言葉 「どこでもITが使え でも、 たとえば われ ・ます いう

る気がします。 が遅れているといった意識が強すぎ 形で湧き上がっているのに、 を生かしたほうがい 行してる気がする。 すまいとしますが、 人達の仏教に対する関心が色んな 教系の大学は、 0,1 僕は、それ 仏教色を極力出 むしろその資源 せっかく若 自分達 は逆

いますが、 私共のお寺でも「寺ヨガ」を いらしてくださる



きられないところがあって、 ない。 を持つと思うんですね。 こういう世界もあるんだな」と関心 少ない機会に接した時に、 て、職場でもそんな話をする人がい う話を聞く機会が学校教育になく やって人間が生きていくべきかとい くなってきています。 島田今、 みんな一生懸命聞いてくれます。 の前にミニ法話をするんですけ 人間って不思議なことにやっぱり生 のは20代~ でもそういうものがないと、 大人が説教することがな 30代が殆どですね。 だからどう 「ああ、 その数 ヨガ

「檀家になる」ということ

と寺檀関係を結んでいる家庭はかな 活者が檀家になることの意義は今で 島田とはいえ、 り少なくなってきています。 都市部では、 都市生 お寺

用語だったものが非常に多いわけだ すよね。 し、仏教こそユビキタスだったんで 玄関」とか にしても、 元々仏教

をされているんですか? のことですが、普段、どう 岸寺」はインターネッ 島田 青江さんたちが運営する 上 いう活動 0) 寺院と

めに、 をしています。 紹介する、という具合に、 る人に対しては、 報、仏教的な思想に興味を持ってい 対しては仏像の見方につい ています。だから仏像が好きな人に 様々なイメージを混在した形で持 人たちは、仏像、宗教、 青江 まずは仏教を知ってもらうた 一口に仏教と言っても、 様々な情報を提供し それに適った本を 思想など 情報提 ての情 最近の 7 11 ま 0

だから、

宗教をめぐる景色

」が変

そこで出来上があったコミュニ 6年ほど前からお寺

> を開放して、 ベントを行っています。 ライブなどの様々

島田 心を? 世代的にはどうい う

青江 若い方が多いです

島田 行ったせいもあるかもしれないけ ど、若い人が凄く多い。暑い時期に 宮とか出雲とか、 かりで、老人は殆どいない。 ポットに行くことがあるん 10代か20代前半ぐらいの 僕も本を書く都合上、 いわゆるパ です 人達 ワー ít ス

世代のほうが、そういうところに 行っているのかもしれない。 わってきた気がします。 ただ、前に大正大学で教えたとき 受講生は仏教系の学生じゃな むしろ若い

彼らは自分の大学がどういう大 普通の学生が殆どだったんです

齋藤 やっぱりいいわけですよね。 側からすれば、 あるんでしょうか? やはりある程度お檀家 檀家が多い お寺さん ほ う が 0

す。というのは、 さまが多いほうがいいと思っていま お寺にかかるコスト 教化費も捻出しやすくなる。 お檀家さま一軒 が安く済みます 0

担ってくださる、仏さまのお仕事 寺は仏・法・僧 (サンガ) を護るた あげられる、そういうつながりが持 さまなのではないでしょうか。 お手伝いをしてくださるのがお檀家 経済的に困難なこともあります。 めにあります。 てるのが寺檀関係だと思います。 てごく僅かなお布施でお葬式をして 人によっては、お葬式を出すの そういう場合でも、 その責任の一端を 親身になっ で お \mathcal{O}

継続的な関係を持てることです 檀家関係の何がいいかといえ



右から青江覚峰氏、松下

あれ 場が必要になってくるし、 自分がなんらかの実践をするという はあまり意味はない。 ば、 仏教を本当に学ぼうとするの れる師という存在は絶対必要 お葬式のワンタイムだけで 仏教徒として 自分を導

> だと思います。 は、仏教徒としてあるためには必要 も、師匠と自分が一緒に仏教を実践 た別の問題としてありますけれど だと思うんです。それが寺檀関係の したり、学んだりできる場というの 甲で上手くできるかというのは、

従って、 限られてきます。 える。住職一人で対応できる範囲も るわけですが、檀家の数が増えるに る程度の檀家の数が必要になってく てきています。維持するためにはあ る費用、こういったコストがお寺の か、弟子の育成費など寺族を維持 一般的な収入では支えきれなくなっ ただ現状、 今度は法事や葬儀の数も増 伽藍を維持する費 角 す

てい の実践にどこまでエネルギー そうなると、仏教の本来的な部分 けるか、 いずれにしても少子高齢化で という難しさもある。 を割 11

> を構築していかなければなりませ 宗教離れといわれる中で新たな関係 寺院経済が弱体化していますし、 ていかなきゃなりません。 院経営を進化させていくことも考え ことも必要でしょう。 ん。寺院の存在意義を提示していく さらに、

済などという問題に至っては、 たくわからないと思います。 分かりにくい。ましてや、 人が檀家になることの意義は極め 今の社会だと、 都市に育 お寺の経 った ま 0 7

目に遭っていなくて、 た。だけど、 戦後の農地解放で、今まで寺を支え んです。 ていた土地をみんな奪われてしまっ お寺さんはいいな」という声もある ところもある。 なそうだというわけじゃ 一方では地方に行くと、 なぜなら地方寺院の場合、 都市の寺院はそういう 都市部の寺院がみ 経営基盤が 61

で聞く話です。 なっているというのは、 会の寺院は、 は事実。そうした格差が大きく ある程度の土地を持っている都 かなり経済的に豊かな 各宗派 の中

ることはだんだん難しくなってきて ことも考えると、寺院を檀家が 用が物凄く上がっている。そうした る費用、あるいは調度品に掛かる費 30億で済んでいるんです。 用が掛かるんですが、20年前は、3 神宮では20年の遷宮に550億の費 いると思うんです。 年の間に物価がそんなに上がったわ . る。 それからお寺の維持で、 じゃなくて、 クラスだと色々修復をやっ 50億とか100億の額が動 お寺さんじゃないけど、 要は寺社建築に 今は大本 で も 20 かかか て 支え 伊勢 11 7 11

済的格差にはものすごいものが それは実感します。 寺院の経 あ 0

> 寺も、東京の中でさえもごく限られ 意識に駆られているんじ のお寺の住職は、 ているのが実態です。 いるお寺は少ない。恵まれてい 業住職で、 ろある。 ゴムボートのようなお寺までい て、たとえば戦艦のようなお寺 しょうか。 今や7割、8割の住職 お布施だけで成り立 非常に経済危機の ですから通 Þ な 、るお が兼 って ろ 13 常

お墓を持てない

島田 数の遺骨ができる。 の人が亡くなっていますが、 どうするのかも深刻な問題です。 す。さらに葬式をあげた後、 にお金をかけられない人達もいま 99%を超えているので、 いま国内で年間120万人ぐら 葬式に話を戻すと、 それを我々 実際葬式 ほぼ同じ お墓を 火葬率 0) 11

> けです。 上、墓に納めることになって 11

すると、 なると、 何十万が払えない人だってい も何十万かは掛かるわけです。その ても不思議じゃないし、 墓をつくるとなると、 してその墓をずっと維持して いう人が都市のお寺の檀家になって けれど、墓がない だけど先祖代々の墓がある人は 非常に困難です。 今の都市の家族の構造 人もいる。そう 数百万かかっ 切り詰めて る。 いくと から ま

齋藤 檀家になっていただきたいと思って な理由 たように高い費用がかかる。経済的 でいいのか、 も見ていると、 お墓を求めようとすると、 下げて、そういうご縁のある人に などは墓地の永代使用料も思い切 お墓の問題については、 でお墓がないという人を何人 と考えさせられます。 果たしてこんなこと 今言わ いざ n

032

生じるでしょう。 ば、「なんで急に安く」という不満も 地を求められた人達からしてみ かといって今まで墓

高すぎるかもしれません。 と思っていましたが、今の感覚では 置き場にしないためには必要な額だ 常のお墓ではない永代供養墓の います。 今どれぐらいが相場ですか? つくった15年前は、 うちは50万円を少し超えま ~50万円が一般的と聞 単なる遺灰 17 7

きる範囲でお願 提の金額なので、 円だけ。これも一通りやることが前 前から永代供養墓をやってい ぐらいです。二人目は埋葬料の7万 入会金など諸々合わせて50万円 私の所属しているお寺も 形式としてはどのような? いしています。 払えない人に ・ます 20 年

> 松下 祀りして供養しています。 は別に本堂に分骨を収めた位牌をお お骨はそちらに埋葬します。それと 会員専用の合葬墓があって、

島田 ですか? 合葬は遺骨単位で合葬するん 全部一緒ですか?

公団の家賃みたいですね。

松下 全部一緒です。

島田 人? れとも子供に面倒をかけたくない 子供がいない家が多いのですか?そ 永代供養墓に申 し込む人は、

松下 もしくは子供が海外など遠隔地に住 う人ですね。 んでいるので墓参りができないとい だいたいは子供がいないとか、

べて増えましたか? 希望される方は、 10年前から比

みれば、 松下 りませんでしたが、 20年前はあまり申し込みがあ 問い合わせが来ます。 昔は村単位でお墓を共有. 最近は毎週1、 考えて

> ば供養の形が変わるのも自然なこと じゃないでしょうか。 時代が変わり人々の生き方が変われ て生活や家族の形も変わりますし、 つようになった。時と場所によっ いたのが、 いつの間にか家単位で

なったり、 島田 たりという例もあります。 ど入る人がいなくて経営的に苦しく 関していうと、 ただこれまでの永代供養墓に 極端な場合、 つくったはい 借金で潰 11 け n

齋藤 ええ、ありましたね。

島田 用できないと思われてしまう。 分の供養をお寺さんにしてもらうと すると、安易につくったところは信 住職さんがどういう方かということ がすごく気になると思うんですね。 いう要素が非常に強いので、そこの 恐らく永代供養墓の場合、

での通常の墓地とまったく違うもの おっ しゃるとおりです。

考え方、姿勢等々がきちんと伝えら れてないと、 ですね。 必要になってくる。 永代供養墓の場合はダ 住職さんの

さんが供養を続けるという仕組みで 墓参りされる方もいない。でもお寺 の方は既に亡くなっていて、 かし永代供養墓では、 そこに

だけができあがっている、 どと思いつつ、 とでいうと、 正直どうなんだろうと思いま いうのは……。 ないにもかかわらずシステム す。この構造、 故人を供養するというこ 具体的な人が もう半分では 半分はなるほ 11

お寺に委ねられる関係性、こ 齋藤 の上に成り立つものだと思い るわけですけれども、その人 が生きているうちに安心して います。まったくない人も これがお寺の願いだろうと思 はお参りに来てもらいたい。 やっぱり縁故ある方に 単にお骨を置く場所が

> とは違う世界です。 いからお願いします、 ということ

島田 考え方が間違ってると思うんですけ 方で、 起きているわけですよね。 体遺棄容疑で逮捕されたという事例 達がかなりの数に上る時代になって どうしていいかわからないという人 があった。これは警察の死体遺棄の の遺骨を入れて車を放棄したら、死 れど、でもそういう事件という いると思うんです。この前も宮城の 車の中にお母さんとお父さん しかし現実に、 遺骨を抱えて 0

どこに置いていいかわからな ないから甥っ子が引き取って、 続でもめて、遺骨の引き取り手 いるという事例があります。 僕が知っている範囲でも、 やっぱり車のトランクに入れて 遺産 が 11

お寺が出てきて、 さすがにそうなってくると、 お寺でお預かりす でも

青江





題もある。 るしかない。 んが遺骨の面倒を見ることになりま 法的には相続でもめた時に、 例えば今の話では甥御さ でも法的には難しい問

> か」とか、弁護士が調査をす ることになっていて、 甥御さんに優先権が与えられ も何度か来ました。 ね。「どのくらい法事をした ることがあるそうなんです うち

島田 難しい。 ほうとしても、 ねないし、そうなると非常に つんだ」みたいな話になり そうなってくると、 「なんで向こうの肩を持 ただ、 歴史的に考える 本家筋 お寺 0 人か か 0

お坊さんに期待される役

ろ変

訟にも関わっているんです。 の戸籍管理までやらされていた。 いなと思ったのは、 日蓮のことを調べていて僕が面白 は寺請制度があって、 わってきている。江戸時代に 日蓮は土地の訴 ある種 彼は

> 地の争いで勝った。しかし勝ったが 常に理論的な人だから、 ボコボコにされたという事件があ ゆえに負けた側の領地を通った時に ても優秀だったろうし、 実際その土 弁護士と

おっしゃったような法律的な知識と たってあると思うんです。 れる場面は出てくると思う。 いうのも、 でお坊さんに期待される面はどうし だけどそういう、文字が書けると 論理的な思考が 今の僧侶の人達に期待さ できるという点 だから今

ます。 齋藤 改めて墓地を求めに来たりするケー 寺もありますし、 するにあたって相談を受けたり。 たくの無償でお骨を預かっているお さっきのお骨に関していえば、まっ 身寄りのない方が財産を処分 たしかに相談は多岐にわ 落ち着いてから、 n

「墓参り教」と「骨信仰_

取りを、遺族が拒否する事 島田 ていますね。 近年、 族が拒否する事例が増一火葬された遺骨の引 増え 引き

変わらなくても、 が残るように火葬しているようです そうですね。 門の業者さんのほうで埋葬する する習慣は変わってくるかもし に収めるのは一部だけで、 遺骨を大切に供養する気持ちは 関西では、 日本ではわざわざ遺骨 こうした埋葬に関 火葬したあと骨壷 残りは専 ñ んだ ま

るように骨を焼いているという現状 たがゆえに、骨上げできれいに見え そうすると、 のようになってしまうそうですね。 「骨上げ」という儀式が発達し 本当はものの15分ぐらいで粉 お骨が拾えない。

松下

仏陀の葬儀に関しては、

別に

青江 がある。 るように思っているけれど、 む人達はこれをすることで自然に還 ミック状になっている骨。散骨を望 は、実は自然には還りにくいセ 土壌でないとなかなか還らない。 先生のおっしゃる「墓参り教」 だけどそういう骨と 酸性 いう 0

島田 とは、 ことで、 ね。 骨上げという儀式がなされる 最終的には骨信仰なんですよ 骨信仰が強化されている面

00年前からお骨という矛盾を抱え できずに拾った。だから仏教は25 へ流せと言ったのに、弟子はそれが 弟子たちは拾った。親鸞聖人も鴨川 骨を拾えとは言ってない。 齋藤 これ、 もあって、 んですよね。 いるのです。 本末転倒の観がある。 仏教にとっては矛盾な お釈迦様は別に自分の だけど、

母さんとの関係が難しかったのに続 えさせられていることがあるんで 齋藤 たんです。欧米では以前から「グ との関係も築けないという状態だっ げっそりしていて…。 を抱きかかえたまま、 かった男の子がいて、 やっておけばいいんだという考え方 に納骨できなかったんですよ。 いかという説もあるようですね。 もあります。仏陀も実際にはヒン ていましたけど、 ケア (悲嘆回復)」 て、亡くなってしまったお母さん お母さんとあまり関係の良くな 教の方法で供養されたんじゃな お骨に関しては、 の必要性 日本でもそう 生きているお 四十九日 顔を見ると 今とても考 お骨 この時 ij

かったのだから、その地域の習俗で ないのが本式だという考え方もあ 一方で、 教的に位置づけはな 仏陀は特に指定はしな いんだから

037 第1部 お葬式とお墓の本質を考える

かもしれません。 ものが必要な時代になってきたの

だと思う。

といわ 合わせたことのない若い人達も 族でお仏壇のない家もあるし、手を たの仏教儀式やお仏壇に辿りつく と言われてきた。その理由は、 今まで日本人は、 ーフケアを必要とする人は少な れています。だけど今は核家 欧米人に比べて 11

ものも学んでいかないとい までは言いませんけれど、 ーフケア、この専門知識を持てと だからこれからはお坊さんがグ と思うんです。 そういう けない

も突出して強くなってきてます。だ 常に緊密になり、 から実の親との関係が悪い例も出て よって、親と子の関係はある意味非 くるわけですが、 家族の数が減ってくることに それはすごく深刻 他の人間関係より

> 性もあるでしょう。 の葬儀なり、弔い方が機能する可能 を契機にしてチャラになるような、 そういうこの世における対立も、 い、なんてことがよくある。だけど、 一つの文化的な装置として、 奥さんが本家の墓に入りたがらな 仏教式

と、みんな悲嘆を受容できない。 の教えをいよいよ伝えてあげな これが仏教だと思います。 た人と出遇っていくことができる。 出遇うことを通して、 ろうと思っているんですよ。 かを端的にいえば、 齋藤 ありますね。 朋に出遇い、 、出遇(あ)いだ そして亡くなっ 自分自身に出 仏教のそ 仏法に 11

葉につながっていくようになる。

悲しみを受容して、

そして感謝の言

ことによって関係性を見つめ直し、

てもらったらどうかと。

手紙を書く

本的に違うんだよという教えなり、 りこの世の関係とあの世の関係は根 島田 それを言うためには、やっぱ ッセージなりを仏教界がやはり発

> してくれたほうがい いと思うん です

> > 038

齋藤 そんなもったいぶったものではなく 立てとして、これからは弔辞 るいは、亡くなった方に手紙を書い ださるような、そういうお葬式。あ お葬式を提案したいんです。 いうと普通大きい お別れの言葉を誰かが述べてく 私はグリ フケアの一つの手 お葬式ですけど、 弔辞と このある

島田 蓮宗と浄土真宗は、他の宗派とや いうことを今勧めています。 くなった人に手紙を書いてもらうと 大きくは二分されると思う。 今各宗派で行われている葬儀

り違う。 うのは一応剃髪、 真言宗、 受戒というプロ 曹洞宗その他と 11 は

て僧侶になっているわけですよね。 者の宗派の葬儀だと、死者は出家し 殆ど意識はされていないですが、後 そういうのが全然わからない。 葬儀にはそれがない。その違いは があるわけですが、真宗と日蓮宗 でもお葬式を出す側というのは、 そう



とも思うんです。 般人が今求めているもの なってくると、その形式が、 な 0 我 か 々

良いのですが、仏教になんらか惹か 変わりません。きっかけはなんでも 期はありえないと思います。 松下 うのがやはり理想だと思います。 帰結として仏教式の葬儀があると の生き方をずっと続けて、最終的な れるところがあれば、仏教徒として 仏教徒でも、宗教を持たない人でも をかけて考えていかなくては良い ういう生き方をしていくのか、 うんですよね。やはり自分自身がど で知るというのはもう手遅れだと思 それに関しては、葬儀 それ の段階 時 は 最 11

> 自身がどういう生き方をしている だと思います。 ものがあって、 土真宗なら浄土真宗のあり方という いお葬式」とい 真言宗なら真言宗のあり方、 その中で初めて「い うものが成り立 つん

戒名問題

ますけれども、 院号についてはいろんな問題があり をしていただきたい。法名、 きたい。だから法名はブディスト 齋藤 決の方法だと思っています。 そして仏教徒としての名告(の) り 生前に皆さんに受けていただいて、 すいのかもしれないけれども、ぜひ ネームというふうにいえばわかりや きな枠で考えるならば、 て自信と誇りを持って生きていただ それから、国際社会という大 このことが唯一の解 仏教徒とし 戒名、

る生き方もあると思います。

その

き方として最終的に葬儀が必要であ ような生き方というのもあれば、 に、生き方として最後に葬式無用の

生

島田先生が本で書かれていたよう

まには生前につけることを勧めてい お礼金が1万円ですから。 人が150人ぐらいいて、 んでいますよ。費用も本山に納める 30年ぐらい前からうちのお檀家さ 帰敬式を受けて元気な みんな喜

真宗は簡単ですよね。

れないけれど。 そのご宗派の人には怒られるかもし だ宗派だということが言われかねな きた宗派。死後につける宗派は死ん い時代がくるのではないか、と。よ 生前に法名をつける宗派は生

義務を果たしてもらう形にし をしてもらうことで、 の点が取り上げられていない。 寺檀関係があるのが前提なのに、 違和感を拭えない 葬儀の際に戒名料というお布施 寺に貢献してくれていない檀家 僕が戒名に関してどうしても のは、その背景に 檀家とし てし ての 日 そ

> 齋藤 私どものお寺では、帰敬式を 名料をもらっていく例もある。 儀社の紹介で来て、 しかも、 わかりやすいんじゃないかと思う。 る。そこは一旦切り離したほうが、 えに非常に奇妙なことになってい 寺檀関係が一体化してしまったがゆ まっているということです。 寺檀関係のない僧侶が、 それで多額の 戒名と

点が問題ですよね。 きたりとして行われてしまって ということが理解されないまま、 島田 戒名とは何か、 経済的負担も少なくて済みます。 含めて3万円をいただいています。 授式される方には、本山のお礼金を 布施とは何か 11 る

青江 戒名料という形で経済と絡め だったらそれほど高くなかったの か安いという議論は尽きないと思 て論じている限り、 永代供養の費用55万円が 3万円が高いと 一昔前



じです。 今高い ように感じられるの と同

思うんです。 き方をできる、 でも、 戒名に見合った背筋が伸びた生 法名や戒名をもらった人 そういう面もあると

それがたとえパソコンソフト で簡

わっていくだろうと思うんです。 ものであれば、その人の生き方も変 9 に組み合わせてつくったもので ものであり、 ても……もらった人にとって嬉 私共、真宗大谷派でも、 誇りになるような 法名

前に仏弟子としての名を名告ってい えました。私はそのことは大変あり て生前法名を受ける人が飛躍的に増 首の専権事項だったんです。 を生前に授けるというのは、 からこそ、皆さんが自覚をもって生 していると危惧していますから。だ する不信感につながって社会問題化 たがいことだと思っています。何し ができるようになった。これによっ うやく一寺院の住職が執行すること い戒名料というのが、 お寺に対 近年よ 昔は門

> です。 族が、じゃ、 うとかって言って付くの ではありません。亡くなってから遺 齋藤 院号は、通常は亡くなってか らもらうもので、 おじいちゃまに付けよ 生前にもらうもの が院号な

島田 院号が増えたのは結構最近で 付いている。 の例を見ると、 というのは、ごく最近。でも有名人 宗で院号なんか付けるようになった 院号は付いてないんです。まして真 迎えるような古くからの檀家でも、 す。ある寺で50回忌、 必ず釈の前に院号が 100回忌を

が。 きないですね。 齋藤 見栄の部分があるのは否定で 切り捨ては しません

松下 のものである以上、 仏教の要素が100%というわけ じゃない。社会的な習俗も混ざっ 仏教が行う葬儀といっても、 「純粋な仏教」を 7

ただくということが解決方法じ

Þ

かと思う

ところで、

院号とは何ですか?

牌置き場であり、 きです。それこそ仏壇も、元々はミニ それがたとえ仏教と切り離せるもの 求めてもしょうがないと思います。 チュアのお寺だったわけです。今は位 のお墓です。 であっても、そこも大事にしていくべ 社会的習俗もちゃんと加味して、 いわばミニチュア

俗の意義ですけれど。 れば、すごくいいことです。これは 仏壇があったらさすがにご先祖さん 嫁姑関係みたいなものがあっても、 習だとは思うんですが、でも、その 仏教の意義ではなくて、 の前だからとケンカが収まるの 仏壇があることによって、先ほどの ご先祖の前で手を合わせるのも情 文化的 であ な習

であれ 言われ もそれでそのご家族が幸せになるの だか ば、 ればそれでお終いですが、 ら「それ、仏教じゃない」と その習俗は習俗として非 で

040

松下 も付けてい で戒名を付けた人がいるので、 も森鷗外とか山田風太郎とか、自分 の証しになっていない、と。 が説明しているような出家者として 分で戒名を付けるかというと、死後 感じました。この箇所では、なぜ自 析についてはほとんど賛成なのです だいて、葬儀とお寺をめぐる現状分 うなお話 の名前であり勲章であって、仏教界 いう解決策については大きな疑問を が、「戒名を自分でつけましょう」と 常に大事だと思います。 島田先生の本を読ませて の流れだったと思うん いんじゃないかというよ 今まで 私達 です

島田

ると、 松下 ひっくり返してしまうような人たち じゃないですか。ごく一部の特殊な 社会の権威や、 でも鷗外とか山田風太郎とな 一般常識を

> と言ってしまっては、実際にそれを 例を一般化して「誰でもできます」 ることになってしまいます。 やる人たちに大きなリスクを負わ

を伝えるというなら、わざわざ戒名 故人のことを知ることができるとい が伝わるのではないでしょうか。 出を語ったほうがずっと色んなこと を考える手間をかけずに故人の思い うお話でした。しかし、故人の人柄 ついて説明してあげれば、みんなが お葬式の場で皆さんに名前の由来に を表すような名前をつけてあげて、 なのだから、遺族が自ら故人の人柄 ことを一番よく知っているのは遺族 というのは、本の中では、故人の

を買ってくるようなものです。 いうのでは、ディプロマミルで学位 れを自分で考えたほうが安いからと ば、戒名を考える必然性もない。そ 仏教の葬儀を選ばないのであれ

> 間もかかることはしないで、無宗教 と思います。そんな危険でしかも手 とっても気持ちの良いことではない 徒として戒名を授か ないでしょうか。 で葬儀をするほうがよほど無難では っている人達

ります。 と難しい部分もある。 島田 最近、一般の方々にお かなか付けられないというのは分か る際に時間があると、 んなことを知らないと、 んです。しかし、やってみると意外 付けてみましょうと言って練習する だから、 自分の戒名を 戒名ってな いろ

をどう捉えるのか、その確認作業と どちらでもいいんだけど、家族が亡 策。本来、戒名があってもなくても まで寺檀関係がない場合の一つの方 くなったとき、遺された側がその人 ただ、僕が言っているの 家族みんなで戒名を考えてみ は、

ゃ

11

そう言っているんです。 ることが助けになるんじ

だからいろんな意味があるわけ

例えばまったく見ず知らずの僧 全然故人のことを知らない人

ります。 ことの危険性が寄った。ところで自分で付けてしまうというところで自分で付けてしまうといるい ることにならない というか誇りという部分でも傷つけ 社会の信用的にも、 えて挑んでみてもいい。 島田 寺檀関係があるとしても、 それはいいんですけど、な かという危惧はあ その人の生き方

侶で、

に戒名を付けてもらうことがい

いの

と。それに比べたら、

寺檀関係

らね。 の延長にあるものではありません 荘厳(しょうごん)です。 齋藤 そうですね。 法名は浄土の 娑婆世界 か

いとい た、硬直した社会通念は問題にし らうには物凄いお金が掛かるといっ わなきゃいけないもので、 す。でも戒名は死んだら誰もがもら あって、なかなか難しいと思いま 島田 そのあたりはいろんな問題が けな しかもも

さまと相談して生前法名を付け

ただ、最終的に判断する

のは

住職の責任としてそれ

は

n

私は信頼関係の中で、

お

でいっている。

いけばいい。

じゃなくて、

いろんな関係性

0

中

で 0) らった人もいます。

実際、私はそうしています。

だから決して硬直したも

のとこへ持っていって添削しても 分で戒名を考えて、それをお坊さん か。実際にあった例ですけれど、自 家族が戒名を考えていいのではない を結んでいたとしても、自分ないし

> 教界が上手く説明してくれなかった 指針を出してほし み込んでやってほしいし、実際的な も戒名について研究会をやりました こと。仏教界全体の団体、全日仏で です。 僕が不満に思うのは、これ 僕から見ると不十分。 61 その思い もっと踏 ま は

(構成: 古